



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第62号

発行 幌延町議会

編集 議会報発行特別委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

お も な 内 容

定例会の議案審議	2
北海道町村議会議員研修に参加して	2
地域の課題をとらえて 一般質問	3～4
サークル紹介	4
総務文教常任委員会	5
産業厚生常任委員会	5
議会の動き	5

第5回 定例幌延町議会

6月16日

第5回幌延町定例議会が

6月16日議員全員出席のもと開催され、町長・教育長の行政報告のあと、4氏が一般質問を行った。

議事案件は報告4件・同意2件・議案6件・推薦1件でそれぞれ原案どおり可決した。

(町広報紙7月号に記載)

議案審議

◎有限会社幌延町畜産振興公社の経営状況報告。

平成22年度事業報告で農家からの預託頭数は1千1百81頭と平成21年度預託頭数より僅かに増加し、利用期間中の事故は7頭と少なく改善が図られた。

しかし繁殖成績は前年度の天候不順による貯蔵飼料の品質低下や預託期間中の暑熱の影響により例年を下回る結果となった。

経営収支の面では受託事業収入として町の一般会計より放牧利用料・各種手数料として4千1百83万7千円、町の補助金1千5百32万9千円、また受託業務収入として西天北堆肥処理代3百55万6千円35円、北星園除雪代、かんばい施設管理代など52万8千1百50円の合計4百8万4千1百85円、その他雑収入ののくし代、薬代の合計3百10万8千4百90円で収入総額、6千4百35万8千6百75円でした。

経営費用合計6千4百35万7千9百86円で、今年度営業利益は6百89円でした。

◎株式会社幌延町トナカイ観光牧場の経営状況報告。

平成22年度のトナカイ観光牧場の入場者数は、平成21年度からの入場料の無料化に伴い、5万5千6百32人と昨年度より約5千人の増となった。

宗谷管内では前年度と比較すると1・7%、3万人の減少となるなど平成14年度をピークに依然減少傾向が続いています。

平成22年度の経営収支は営業収益として町の一般会計より受託収入1千5百94万円、販売物収入約1百7万円、営業外収入約66万6千円の合計千7百67万5千460円の収益でした。営業費用としては、人件費、飼料費、薬品代を含む委託料が1千1百99万円、水道光熱費、家屋費などで約3百80万8千円など、合計で1千7百38万8千44円となり、当期利益は28万7千5百18円でした。

今後の展開としては宗谷総合振興局による広域観光PR事業や、幌延町観光協会などの協力を得ながら更なる集客を図りたいとの報告があった。

北海道町村議会議員 研修に参加して

(7月5日)

札幌コンベンションセンターにて全道1百44町村、議員1千6百56人が一同に集まって開催された。

講師に「今後の政党政治の行方」と題して、東京大学先端科学技術研究センター教授 御厨貴氏が講演される。

もう一人の方は、経済評論家、内橋克人氏で「今後の日本経済展望」と題し、今回の東日本大震災は国家の危機であって、日本経済に理念が必要であると、論じていた。



地域の課題をとらえて

4氏が一般質問



驚見 悟

Q、東日本大震災と福島原発事故後の深地層研究センターの予算はどうなるのか。
A、現在まで変化はなく進めていく。

質問 今年度予算の中で、中止となったものは。

町長 ない。

質問 原発の危険性が明らかになったが。

町長 原発の安全対策の根本的見直しが不可欠。

質問 原子力関連施設の誘致を言ってきたが、具体的にはどんなことか。

町長 深地層研究センター関連の研究の実施を要請している。

質問 泊原発の視察やおもしろ科学館の開催は、東日本大震災や福島原発事故の中で中止すべきではないか。

町長 いろいろな考え方はあると思うが、開催したい。

質問 大震災や原発事故も終息していない中で、開催するというのは問題がある。

町長 毎年盛会にやって来た。

質問 幌延町として資源エネルギー庁から文献調査（最終処分場）を申し入れされたら、受けるのか。

町長 これから検討する課題であろうと思っている。

質問 何を検討する課題なのか。

町長 いろいろな考え方がある。国策の関係。

質問 条例や協定で「核」を持ち込まない精神から言うとか、これに反するのではないか。来年度予算はどうなっているのか。

町長 なにも分かっている。

質問 選挙人名簿にかかわる住民票の異動・転入・転出などで個人情報情報は適切に管理されているのか。

選管事務局長 適切に行われている。

質問 町長選挙、町議選挙の収支報告書の告示は掲示板でいいのか。

選管事務局長 検討したい。

質問 公営住宅で、上の階の三階とかで住宅の水道水、風呂水、子供などが走る振動などの苦情が来ているが。

町長 宮園団地1号、3号棟については構造上できない状況。4号棟はだいぶ良くなっている。



佐々木 忠光

AQ、保育所の改築計画は。次世代育成支援対策地域行動計画において目標として平成二十六年まで認定こども園の設置を目指して検討をしていく。

質問 町長が日頃からよく言われる優先順位を考えて施設整備を行う中で現在の保育所運営から見ても、もう少し早い時期に考えられなかったのか。

町長 北星園の改築を始め他の施設整備をする中で、二十六年度幼保一元化にむけて庁舎内の検討委員会を立ちあげて行く。

質問 建設の場所についてはどの様に考えているか。

町長 子育て支援団体と協議しながら選定を進めて行く。

質問 場所の選定にあたり町づくりを兼ね保育所の位置づけを町長の考えをうかがいたい。

町長 小学校の敷地内に作って給食センターの給食なども利用できればと思う思いはありますが、保護者の皆さんと協議を進めて行きますが、今の所白紙状態です。

質問 今後の運営を認定子供園を考えているという事です。既に開設されている事例などがあれば紹介してほしい。

町長 遠別町、中川町、中

頓別町が実際にスタートしている。

町民課長 平成18年に制定された施設で就学前の子供には教育と保育の一体的な子育て支援施設となっている。すべての子育て家庭を対象にして、子育ての不安の相談活動・親子の集いの機能も兼ね備えた物となっている。

質問 農村地区の町村道等の未舗装道の整備計画は。

町長 現在の町道農道の舗装率は51.3%であり、ます。いろいろな計画を考えて、少しずつやって行きたいと思っています。

質問 搾乳をしていない農家等の対応は。

町長 搾乳農家については整備しましたが、それ以外の農家については厳しい状況です。

質問 住宅周辺の環境整備等の事業化を取り組めないか。

町長 基本的に農家各自が自主的に取り組むべき物と思っているが中山間事業等で取り組んでいる地区もある。



西澤 裕之

Q、幌延深地層研究センターの研究は、当初の計画どおりに進められるのか。
A、今後とも計画どおり進める必要があると考えている。

質問 深地層研究センターは、町の政策・施策に大きな影響を与える施設だと認識している。研究等の縮小は、

商業者を含め町の経済活動や、人口規模に大きな影響が生じるものと考えているが、町長の認識はどうか。

町長 幌延町にある施設は原発ではないし、放射性廃棄物を持ち込まない施設です。地層処分研究の技術開発を目的に行っており、その研究やPRの予算が削られるという話は聞いていない。今後も地域振興のために原子力機構を始め、関係省庁に推進の依頼をして参りたい。

質問 当初の計画では、地下500mまで掘削するとの説明だったが予定どおり行うという事で確認をしているのか。

町長 平成25年度までに、東立坑・西立坑・換気立坑と、350mまで掘削する予定と聞いている。原子力機構本社の方に問い合わせたと

ころ、当初計画どおり、いささかも変更はしていないと伺った。最終的には、500mまで掘削すると認識している。

質問 福島第一原子力発電所の事故後、最終処分の問題が報道で取り上げられ、幌延深地層研究センターの重要性は、以前にも増して高まっていると感じている。今後の処分研究においては、あらゆる可能性を想定内に含めて研究をしていかなければならないと思っている。町としても、深地層研究センターに申し入れなどできると思うが、どう考えるか。

町長 想定外と言えども、あのような被害が起きていることは事実。深地層研究センターにおいては、更に安全度を高めるような研究をする必要があると考えている。また、幌延町の住民を始め、道民・国民が安心して生活できるような、安全対策をより強化して頂きたいと思っている。



斎賀 弘孝

Q、介護事業所の休止で町長として助言はしたか。
A、独立した法人のため、人事については干渉できない。

質問 東日本大震災でどう支援したのか。

町長 物資では非常食100食、毛布40枚3月18日に搬出。援助金は町単独で100万円送金。空いている公営住宅への被災者の受入と仮設住宅用地提供を申し出ている。

質問 安全神話は崩れたか。
町長 崩れたというか、相当未曾有の状況であると思う。

質問 介護事業の休止はいつ知ったか。

町長 5月に入ってからかな。

質問 それまで何も情報が出なかったのか。

町長 ヘルパーの方々、辞めるとか、休んでいるという事は耳にした。介護を受けられている方々に絶対不便を掛けないように、会長、事務局長に話をした。

質問 しかし、利用者には5月21日に休止という報告をしています。現状はどうなのか。

町長 人事、組織については干渉すべきでないと考えて

る。4人を新しく採用し、今後段階を踏んで7月には事業再開予定と聞いている。

町民課長 5名の応募あり、4名を採用、必要な研修、講習を踏むと7月いっぱい開の可能性もある。

質問 今不便な生活をしている人がいる。どういう理由でヘルパーさんが辞められたのかその理由を改善をどうするのか。

町長 ご理解頂きたい。町長でも、民間で組織している、あるいは、全国組織の中の社協で、会長も事務局長も理事、評議委員長もおられ、そこで協議して決めた事に、どうこうっていうことにならない。

質問 職員研修でスキルアップとは何か。又、研修の方法は。

町長 職員個々の能力を研修により向上させ、協働のまちづくりとその能力を活かすのをスキルアップとし、3年かけて、人材育成事業として、スタートさせる。主査以下職員全員を参加。

サークル紹介

『幌延ほおずき俳句会』を訪ね



会長 横山 貞雄

Q. どのような活動をしていますか。

A. 昭和47年に発足して以来活動を続けています。会員の高齢化が目立ちますが、毎月一回集まり、「十七文字」の世界で、幌延町の自然を題材に、兼題を決めて句会を行っています。また、町広報誌に掲載したり、生涯学習センターに展示しています。指導は、現代俳句協会会員で事務局長の田中徹男氏が中心となり、定例会と九月には吟行会を計画しています。町の文化祭にも参加して、地域の自然を一句に託しています。

Q. 会長さんから一言

俳句はわけ防止かな？ 日々自然環境に溶け込んで、一日の生活を楽しみ過ごすことが出来ます。ほおずき俳句会には是非来てみて下さい。

常任委員会 報告

第5回総務文教常任委員会 (6月6日)

(1) 第5次幌延町行政改革大綱「新・ほろのべ自律プラン」(素案)の策定について

○本プランは、昨年10月に作成した財政推計に基づき、策定作業をスタートした。本来ならば22年度からの計画だが、民主党政権に代わり、地方交付税等が先行きが見えない状況だったため、策定期間が遅れた。6月・7月にパブリックコメント実施し、9月定例会に提出する。

●震災が起きて、複数年に渡り影響が出てくると思うが、地域経済だけではなく、国レベルの経済が変わると思う。その辺の試算はどうするのか、また、根本的な見直しの可能性は。

●今は出てきてないが、計画自体は毎年見直しをする。5カ年計画を立て直す可能性もあると考える。

●福祉関係が見直しの大きな一つの対象になるのでは



道道花壇整備

ないか。

●これから実施計画を作るのでその中で具体的対応策を検討していきたい。

●今回の意見は本部、行革の委員会へ伝えたい。

(2) まちづくり事業補助について

●事業名 トナカイ調剤薬局整備事業

●5月13日申請提出、5月24日審査委員会、5月30日補助計画と認定

●事業効果

・町民の利便性の向上

・地域医療の確保

・町民の健康保持

・町民の保健福祉の増進と産業の振興が図られる

●補助計画事業費

1千5百75万円

●認定補助金額

1千万円

●事業の着手、完了

着手 23年5月13日

完了 23年10月1日

第4・5回産業厚生常任委員会 (6月6・8日)

(1) 平成23年度町営住宅等家賃算定に係る収入申告事務の不適正な処理について

●今回の不適正な事務処理は、職員の職務怠慢に起因しております。公営住宅等の入居者の皆様のご理解、ご協力により、事務は正処理手続を完了することができましたが、入居者の皆様にご迷惑をおかけし、不信任をもたらししたことをお詫び申し上げます。との報告があった。再発防止策は、

(1) 職員に対して法令遵守と適確な事務処理を徹底させる。

(2) 事務処理の進捗状況を共有する。

(3) 職務怠慢に陥らないよう士気を醸成し、持続させる職場環境をつくる。

とし、これらに取り組み再発防止に努めて参ります。

●家賃の設定はどのように決定しているのか。

●10月1日を基準に申告書を受けて、新年度の始まる約1ヶ月前までに家賃を通知する。

(2) 介護ヘルパー事業について

●介護ヘルパー事業休止について、町がどのように対応したのか、また、今後の対応について調査をした。

●町として、問題が発生した時には原因を究明し、更には指導する立場にあるのではないかと。今後、円滑な運営方法を考えるべき。

●町の考え方としても同じような考えです。関係者と話し合いを持ち、ヘルパーに

慰留の説得もした。ただ、社会福祉協議会は独立した法人であり、特に人事に関しては深く干渉することはできない。今後は幌延町社会福祉協議会の体制が整うまでは、天塩町社会福祉協議会からヘルパーを派遣して頂くことになりました。

●大事なことは、また安心してサービスを利用してもらえる環境作りであり、そのための指導をしていくべきではないか。

●そのように認識しているし、そのように関わって参りたい。

議会の動き



4月15日▶第88回議会報発行特別委員会
5月9日▶第3回臨時会

第4回総務文教常任委員会
第3回産業厚生常任委員会
第3回議会運営委員会
第1回議会報発行特別委員会

5月17日~18日▶宗谷町村議会議長会総会(稚内市)

5月23日▶第2回議会報発行特別委員会

5月30日▶各種期成会総会(士別市)

第3回議会報発行特別委員会

6月2日▶宗谷管内議会議員研修会(浜頓別町)

6月3日▶北留消防組合総会(羽幌町)

6月6日▶第4回議会運営委員会

第5回総務文教常任委員会

第4回産業厚生常任委員会

第1回全員協議会

第4回議員協議会

第4回議会報発行特別委員会

第5回産業厚生常任委員会

第5回議会報発行特別委員会

6月10日▶西天北五町衛生施設組合協議会

6月16日▶第5回定例会

第6回議会報発行特別委員会

6月23日▶宗谷管内町村等監査委員協議会定期総会(稚内市)

6月28日▶天塩地区防犯協会総会(天塩町)

6月29日▶第7回議会報発行特別委員会

7月5日~6日▶全道議員研修会(札幌市)